



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 ICCU 中村綾華

【研究責任者】

聖路加国際病院 ICCU 看護師 中村綾華

心臓血管外科において胸骨正中切開術を受けられた方を対象 とした術後疼痛に関する研究

1.研究の対象

2016年4月～2021年3月に当院で心臓血管外科にて胸部正中切開（胸部の中央を縦に切開して胸を開く手技）にて手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

術後の疼痛は一般的に、離床遅延や食欲減退など様々な影響を与え、合併症や入院日数増加などにつながると言われており、疼痛管理が必須です。

心臓血管手術の術後に上腹部への疼痛を訴える患者が多く、2018年より当院では閉胸時に腹直筋鞘ブロックという局所麻酔を用いております。今回術後の疼痛について調査することで腹直筋鞘ブロックの影響を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、性別、年齢、術式、術前体重、疼痛部位、定期鎮痛薬の使用量・種類、頓服鎮痛薬の使用有無、初回立位日、初回歩行日、食事摂取量 等